

目的：河川氾濫による浸水の頻度を見る化

水害リスクマップ（浸水頻度図）とは、多段階の浸水想定図（発生頻度は小さいものの浸水範囲が広い大規模な洪水や浸水範囲は狭いものの発生頻度が高い小規模な洪水など、様々な規模の洪水の浸水想定図）を重ね合わせたもの。

今般、防災まちづくりや企業立地の参考となることを目的としている。



県管理河川における対応状況について

水害リスクマップの対応状況については、令和5年度に七北田川水系にて外水氾濫を対象とした水害リスクマップの作成を試行的に実施した。

【R5年度 実施河川】

- ・七北田川
- ・梅田川

「多段階の浸水想定区域図及び水害リスクマップの検討・作成に関するガイドライン」（令和5年1月 国土交通省）に基づき、作成を実施したもの。



令和4年12月14日
水管理・国土保全局河川環境課
国土技術政策総合研究所河川研究部

河川氾濫による浸水の頻度を見る化（国管理河川）

～水害リスクマップ（浸水頻度図）のポータルサイトを開設～

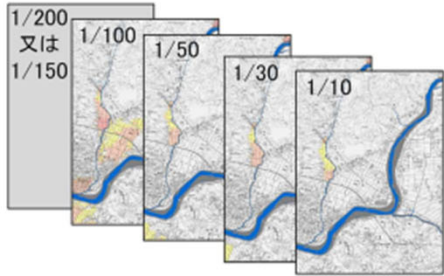
国土交通省では、これまで、住民の避難等を目的として、洪水ハザードマップのもととなる洪水浸水想定区域図（想定最大規模の洪水を対象）を作成・公表してきました。これに加え、今般、防災まちづくりや企業立地の参考となることを目的として、「水害リスクマップ（浸水頻度図）」を作成し、ポータルサイトを開設しました。

水害リスクマップ（浸水頻度図）は、多段階の浸水想定図（発生頻度は小さいものの浸水範囲が広い大規模な洪水や、浸水範囲は狭いものの発生頻度が高い小規模な洪水など、様々な規模の洪水の浸水想定図）を重ね合わせたものであり、今回開設するポータルサイトでは、全国の国管理河川の水害リスクマップと多段階の浸水想定図をまとめて確認することができます。

今後、水害リスクを踏まえた、まちづくりや企業の立地選択等での更なる活用促進に向け、流域治水協議会等を通じて情報共有を図り、議論を深めてまいります。

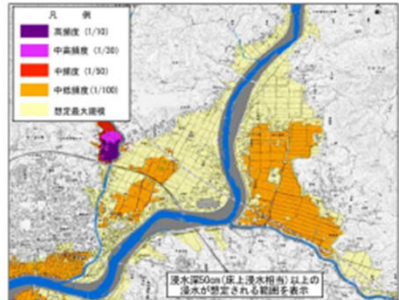
※https://www.mlit.go.jp/river/kasen/ryuiki_pro/risk_map.html

多段階の浸水想定図



- 高頻度から中頻度で発生する降雨規模毎（年超過確率 1/10、1/30、1/50、1/100、1/150 又は 1/200）に作成した浸水想定図。
- 今回公表する図は、国管理河川からの氾濫による浸水のみを対象。

水害リスクマップ（浸水頻度図）



- 多段階の浸水想定図を用いて、降雨規模毎の浸水範囲を浸水深毎（0.0m 以上、0.5m 以上（床上浸水以上）、3.0m 以上（1階軒下浸水以上））に重ね合わせて作成した図面。
- 今回公表する図は、国管理河川からの氾濫による浸水のみを対象。

※一定の条件下でのシミュレーション結果であり、雨の降り方や内水も含めた浸水形態によっては実際の浸水状況と異なる場合があります

【問い合わせ先】

水管理・国土保全局 河川環境課 水防企画室 水防企画官 白波瀬、係長 岡安
TEL：03-5253-8111（内線 35453、35456） 直通：03-5253-8460 FAX：03-5253-1603
国土技術政策総合研究所 河川研究部 水害研究室 主任研究官 武内、研究官 山本
TEL：029-864-2211（内線 3582、3583）、直通：029-864-7627 FAX：029-864-2688

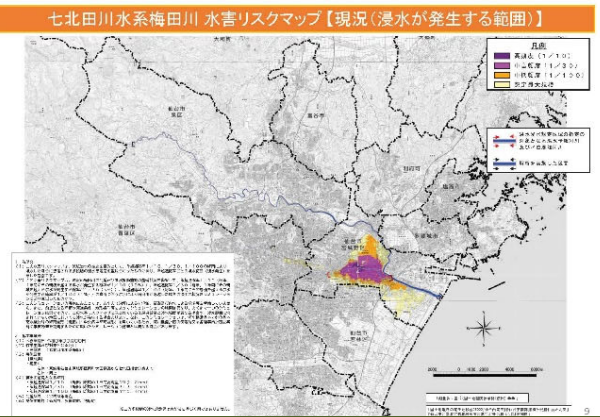
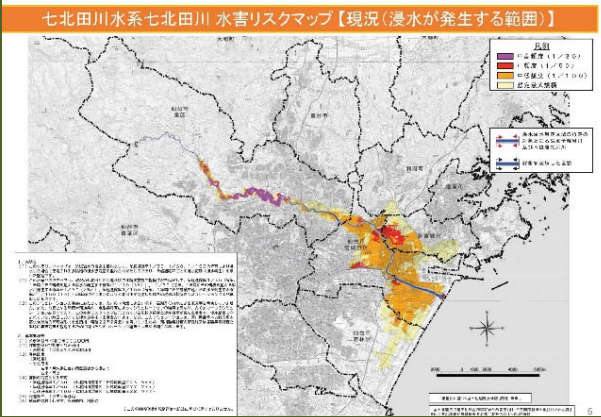
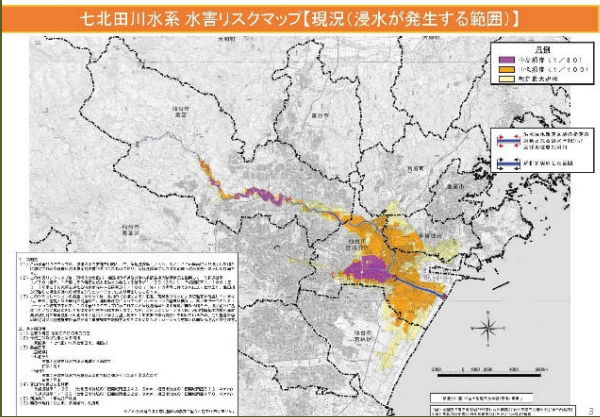
七北田川水系(七北田川・梅田川) 水害リスクマップについて

七北田川+梅田川

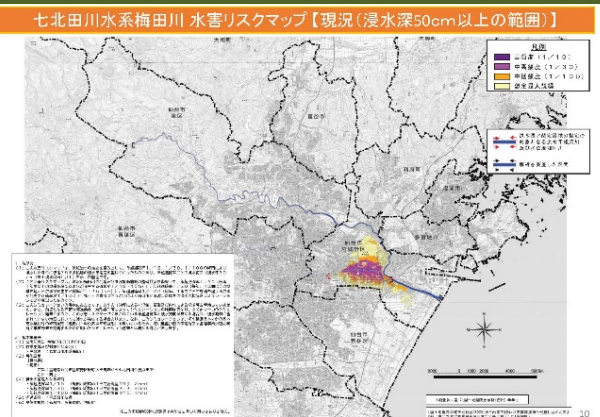
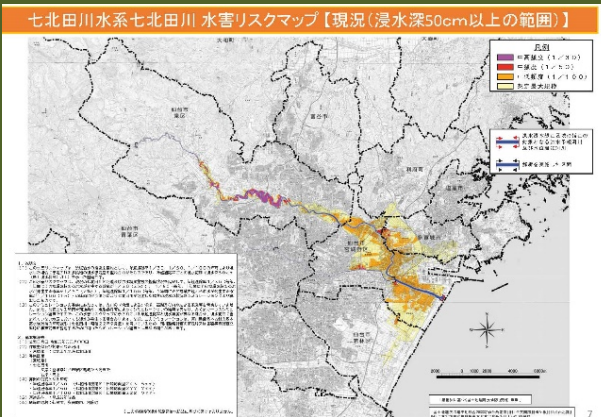
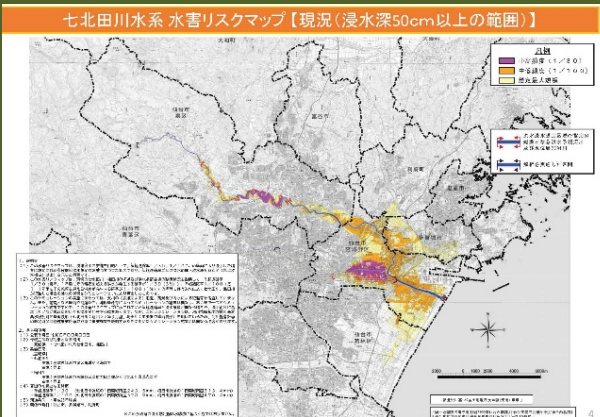
七北田川のみ

梅田川のみ

全浸水範囲
分布図



50cm以上
浸水範囲
分布図



3m以上
浸水範囲
分布図

